

「東日本歯学雑誌」投稿の手引き

本学会誌の体裁を統一するために、「投稿の手引き」に準拠して、ご執筆下さいますようお願い致します。

原稿はすべてA4版とし、下記の項目1)～8)のすべてを、2部提出して下さい。和文抄録、英文抄録、本文については、フロッピーディスクを投稿原稿とともに提出して下さい。なおディスクには、使用したワープロのソフト名とファイル名を記載して下さい。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1) 投稿原稿表紙 | 5) 本文 |
| 2) チェックリストシート | 6) 表 |
| 3) 和文抄録 | 7) 図 |
| 4) 英文抄録 (ABSTRACT, 英文表題を含む) | 8) 図表説明文 |

1. 投稿原稿表紙

表紙には以下の事項を和文および英文で記入する。

- | | |
|-----------------|--|
| 1) 原稿の種類 | 5) 著者の所属および所在地 |
| 2) 表題 | 6) 別刷数 (50部単位) |
| 3) 著者名 | 7) 連絡先 (郵便番号, 住所, 電話番号, Fax番号, E-mail番号) |
| 4) キーワード (5語以内) | |

1) 表題

- (1) 一般固有名詞として通用していない商品名は用いない。
- (2) 和文表題には、原則として略号以外の英文字を用いない。スペースも含めて35字以内のランニングタイトルを付ける。
- (3) 英文表題、和文表題の内容と一致させる。文頭のみ大文字とし、他は小文字とする。また、スペースも含めて45字以内のランニングタイトルを付ける。
- (4) 副題はできる限り用いない。ただし、必要な場合は次の例に準拠する。続報、第2報などの表記は認めない。

和文・英文：-□□□□□□□□-

2) キーワード

5語以内のキーワードを付ける。英文の場合は、キーワードの先頭のみを大文字とし、他は小文字とする (例: Impression materials, Bone morphogenetic proteins)。

3) 氏名および所属

(1) 英文氏名 (和文) は、氏名の先頭のみを大文字とする (例: Akira Yamada (山田 昭) and Taro Hokkai (北海太郎))。

(2) 著者の所属が2カ所以上の場合には、第2番目以降の所属の著者に^{1),2),3)}を付ける。

2. チェックリストシート

チェックリストの指示に従い、投稿原稿を確認する。

3. 抄録

和文抄録は400字以内、英文抄録は150語以内とし、両者の内容を一致させる。

4. 本文

- 1) 原稿はA4判用紙にワードプロセッサなどによる横書きとする。原則として12ポイント文字を使用し、1頁35文字×30行とする。句読点は「. と , 」を用いる。英文の場合は、ダブルスペースとする。

- (1) フロッピーディスクに、使用機種名、ソフト名、所属、著者名を明記する。
- (2) 著者がテキストファイルへ変換できる場合は、変換したファイルを提出する。
- 2) 原稿の下段中央にページ番号を記す。
- 3) 論文の原則的な構成は、緒論（緒言）、方法（材料および方法）、結果、考察（結果および考察）、結論（結言）、謝辞、文献とする。
- 4) 見出しを用いるときは次の順に項目をたてる。
3→3)→(3)→a→a)→(a)
- 5) 文章は、専門用語を除いて、常用漢字、新かなづかい、ひらがなは口語体とする。
- 6) 数字はアラビア数字とし、単位の記号はJIS・Z8202およびZ8203に準じ、国際単位系（SI）を使用するよう努める。また単位にピリオドをつけない。（例：GHz, MPa, kW, cm, mV, μ m, nA, pF, ml, mmol, N(kgf), K, °C, min)
- 7) 学術用語は、原則として「文部省学術用語集」に準拠する。
- 8) 商品名、器械名などは、可能な限り一般化されている「カタカナ書き」とする。英文字で表す場合は、かしら文字のみ大文字にする。
- 9) 外国の人名などの固有名詞は原則として原綴とする。
- 10) 連続した数値は「,」でつなぎ、最後に単位をつける。（例：10, 20, 30°C）
- 11) 製造社の表記法は（ ）内に会社名のみを記し、社製および製作所、工業社製、株式会社などを入れない。

例：（型式名，製造会社名），（略号，製造会社名）

（X-3010，日立）（EPMA，日本電子）

- 12) 図表の挿入場所を本文右欄外に朱書きする。
5. 文献
- 1) 文献は、本文中の引用箇所の肩に引用した文献番号（1. 2. 3. -----）を付け本文の末尾に一括して掲載する。体裁は、^{1,2)}, ^{1~3)}, のようにする。
 - 2) 文献として不適当なもの、例えば未公表のデータや私信などは文献として引用しない。
 - 3) 文献の記載方法の基本は次のとおりとする。

(1) 雑誌の場合

著者名（初めの3名まで記入し、氏名を「,」で区切る。それ以外は「他」または「et al.」を付ける）：氏名：表題－サブタイトル，雑誌名，巻：引用ページの始めと終わり，発行年。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

(例：Buckingham TL:Expansion of plaster of Paris., Dent Cosmos, 1 : 117-119, 1859.)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

* 欧文雑誌名はイタリック体で、巻はゴシック体で記述する。

(2) 単行本の場合

著者名：書名，版数，発行所名，発行年，引用ページの初めと終わり。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

(例：Phillips RW:Skinner's science of dental materials. 9th ed., WB Saunders, 1991, 219-221.)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

* 発行所はイタリック体で記述する。

(3) 分担執筆の場合

分担執筆者名：分担執筆の表題。編者または監修者、書名、巻などの区別、発行所名、発行

年，引用ページの始めと終わり。

(例：山田早苗・橋義齒の力学－傾斜歯ブリッジの形成と設計について－，日本歯科医師会，新臨床歯科学講座，3，医歯薬出版，1978，157－165.)

(4) 翻訳書の場合

著者(翻訳者)：書名(翻訳書名，発行所名，発行年，引用ページの始めと終わり) 発行年。

(例：Davidge RW (鈴木弘茂，井関孝善)：Mechanical behavior of ceramics (セラミックスの強度と破壊，共立出版，1982，34－55) 1979.)

6. 図

- 1) 用紙はA4版とし，1枚ずつ別葉にする。
- 2) 各葉枚に，著者名，片段あるいは両段の指定，刷り上がり寸法(縮尺率)，トレース希望の有無，カラー印刷の有無を明記する。
- 3) 図の大きさは，片段か両段一杯になることがのぞましい。刷り上がりを想定して，図の大きさが片段で横幅45～68mm，両段で100～150mmになるように縮小コピーし，文字，記号の大きさ，線の太さなどをチェックする。棒グラフなどのハッチングは識別可能なものにする。
- 4) 図中の文字は，刷り上がりで本文とほぼ同じ10～13級(7～9ポイント)，線の太さは0.15～0.3mmになるよう原図を作成する。
- 5) それぞれ図の下部に，図の簡潔なタイトルを貼付する。英文字の場合は書き出しのみを大文字にし，それ以後は小文字とする。しかし，略号はこの限りではない。
- 6) 組図を希望する場合の組図の原稿は，直角度や貼込み間隔を正確にする。
- 7) 写真は，刷り上がり寸法以上の大きさに作製し，A4判の用紙に貼る。同時に必要な文字，記号などを記入する。写真の拡大率は，原図中の右下に単位長さのバーで表す。
- 8) 記号は中心の明確な○●□■◇◆などを使用する。
- 9) 記号を使用する場合の凡例は，脚注に置かずに図中に入れる。
- 10) 原図が規定に沿わないときは，編集委員会でトレースまたは文字写植(すべて有料)とする。

7. 表

- 1) 縦の罫線はできる限り入れない。
- 2) 標準偏差は，() もしくは±とし，信頼区間との混同を避けるために説明を入れる。
- 3) 表題が英文字の場合は書き出しのみを大文字にし，それ以後は小文字とする。しかし略号はこの限りではない。
- 4) 単位などの表記は同一言語に統一する。単位(unit)，平均(mean)，標準偏差(SD)

(例：)

Table 1 Mechanical properties of specimen

Specimen	Tensile strength MPa	Elongation %
A	500(20)	10.2(3.3)
B	300(15)	5.4(2.3)

():SD

表1 試料の力学的性質

試料	引張強さ MPa	伸び %
A	500±20	10.2±3.3
B	300±15	5.4±2.3

平均±標準偏差